Panasonic

HIDダウンライト（軒下用）

取扱説明書

保管用

品番　NC71902

・ 器具の取りつけには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

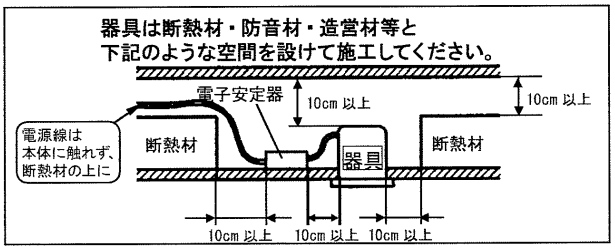
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠危険

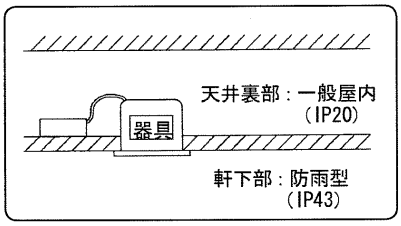
●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

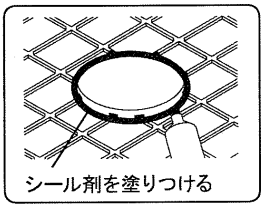
・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

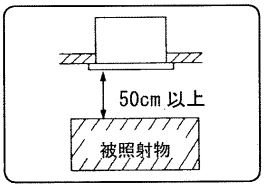


⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下の原因となります。
●器具の取りつけ部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の
設備に触れない様に施工する。
火災の原因となります。
●この器具は軒下用です。雨のかからない屋根部分の軒下用以外で使用しない。
また、浴室などの湿気の多い場所で使用しない。火災・感電の原因となります。
●器具の部位により防水性能が異なります。
天井裏部は防水性能がありません（一般屋内）ので、天井裏部に水のかかる場所へは
設置しない。火災・感電の原因となります。
●天井材の凹凸が大きい場合はすき間を埋める。
天井材と本体とのすき間を防水シール剤などで埋める。
防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
●水平天井埋込専用です。壁取りつけや天井直づけおよび傾斜天井への取りつけはしない。
火災・落下の原因となります。
●必ず表示された定格電圧（１００V～２４２V）± ６%の電源電圧で使用する。
火災・感電の原因となります。
●器具表示および取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
●接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行なってください。接地が不完全な場合、
感電の原因となります。
●器具と被照射面は５０cm以上離す。火災・変色の原因となります。







⚠注意

●一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、水気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では
使用しない。火災・感電・落下・ランプ短寿命・サビの原因となります。
●軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しない。火災・ランプ短寿命の原因となります。
●振動のある場所では使用しない。火災・感電・落下・取付面のスキマおよび変形の原因となります。
●ライトコントロール等の調光器との併用はしない。火災の原因となります。

施工上のご注意

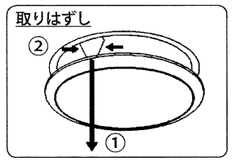
●漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意ください。漏電ブレーカの誤動作の原因となります。
1）ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
2）単相３線２００Vで片切りスイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
注）無負荷時の漏洩電流の測定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行ってください。
消灯後、（ランプ装着状態で）約５秒後にスイッチを入れ、点灯（放電）開始までの間に測定する。

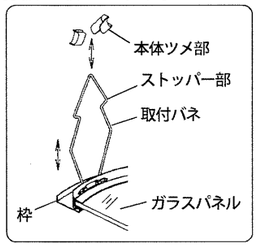
各部のなまえと取りつけ方

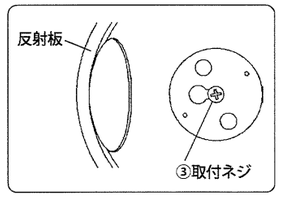
1.取りつけ前の確認をする
・器具重量（約2.4kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2.天井にφ150±2㎜の埋込穴をあける

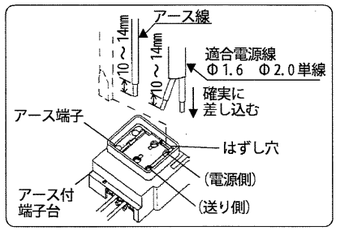
3.枠・反射板を取りはずす
①ストッパー部が本体ツメ部にあたるまで枠を静かに引き下げる。
②指先で取付バネを押し縮め、枠を取りはずす。
③取付ネジをゆるめて反射板を取りはずす。



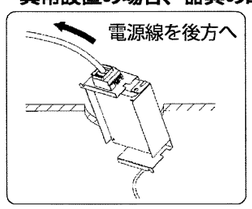




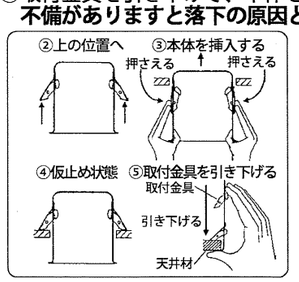
4.電源線を端子台に接続する
・電源線、アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
【D種(第3種)設置工事が必要】
・端子台の送り容量は１５Ａです。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

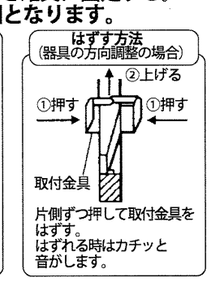


5.電子安定器を設置する
・電源線が電子安定器・器具に触れないよう奥の方へ入れる。
・電子安定器を天井内の平らな所に横転・逆転しないように設置する。
・不安定な場所や横転・逆転のおそれのある場所に設置する
場合は、安定器をネジ（別途）で固定してください。
異常設置の場合、器具の故障の原因となります。

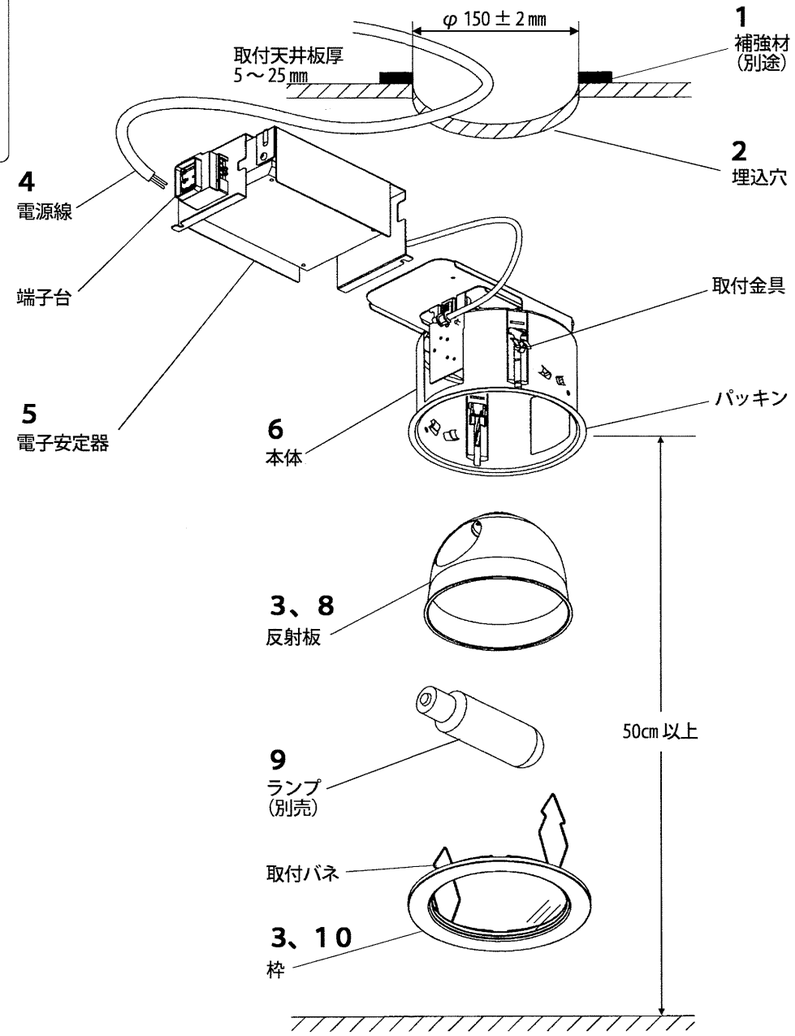


6.本体を取りつける
①パッキンが確実に取りついていることを確認する。
②取付金具２ヶ所を本体上部へとどめておく。
③取付金具を内側へ押さえながら、天井に挿入する。
④仮止状態とする。
⑤取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。
不備がありますと落下の原因となります。





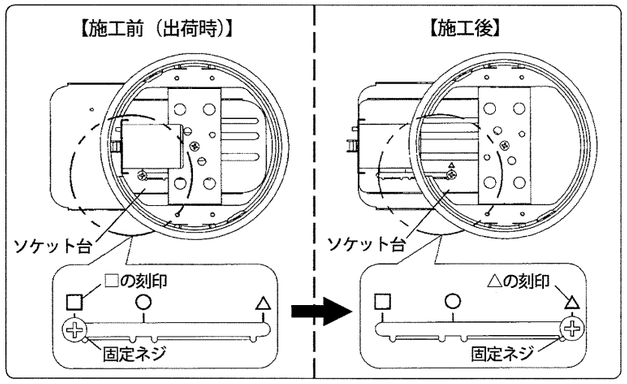
ロックウール等の柔らかい天井及び珪酸カルシウム板、金属板等の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（木片等）を入れる。
補強材のない場合、光モレ、枠と天井面の隙間の原因となります。



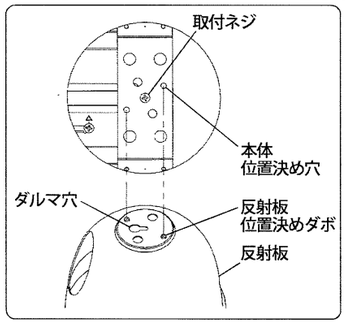
これは一部簡略化した図です

⚠警告
照射物・照射面とは５０ｃｍ以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

7.ソケット台の位置を調整する
①固定ネジをゆるめる。
②ソケット台を出荷時の□の刻印から△の刻印まで動かす。
③固定ネジを締めつける。
固定ネジを確実に締めつけてください。
不備がありますとランプの破損の原因となります。

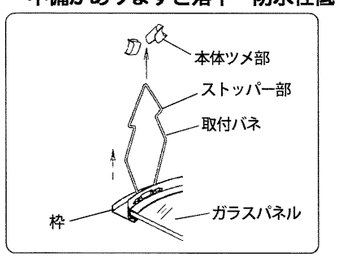


8.反射板を取りつける
・反射板のダルマ穴に取付ネジを挿入し、本体の位置決め穴と反射板の位置決めダボを合わせる。
・取付ネジを締めつける。
不備がありますと落下の原因となります。



9.ランプ(別売)を確実に取りつける
・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。
ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・感電・故障の原因となります。

１０.枠を取りつける
・本体ツメ部に取付バネを合わせ、枠をまっすぐ静かに最後まで押し上げる。その時、ガラスパネル部は押さないでください。
不備がありますと落下・防水性低下の原因となります。



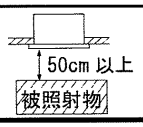
取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
●異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。
●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。　火災の原因となります。
●器具と被照射面は５０cm 以上離す。火災・変色の原因となります。



⚠注意

●器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して１０年（※）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

●光の影響を受けやすい商品（毛皮・呉服・絵画等）には長時間使用しないでください。変退色の原因となります。
●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具からの離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
●点灯中のランプを消してすぐに電源を入れてから、ランプが始動するまで約１０分かかります。
●シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

保証について

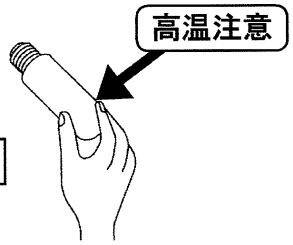
●保証について　この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
●保証書について　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
●補修用性能部品の保有期間　弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意　必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

<器具の清掃について>　・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

<ランプ交換について>　・器具表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製ランプを使用してください。
・ランプを交換後も点灯しない場合は、安全のために安定器が動作停止している
ことがあります。電源を一旦切ってから再度電源を入れなおしてください。

適合ランプ（指定）	
セラメタ１５０形（拡散形）	ＭＴ１５０ＦＣＥ－ＬＷ－２
	ＭＴ１５０ＦＣＥ－ＷＷ－２
	ＭＴ１５０ＦＣＥ－Ｗ－２

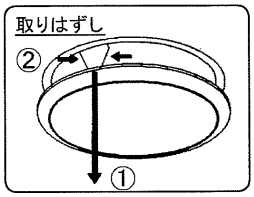


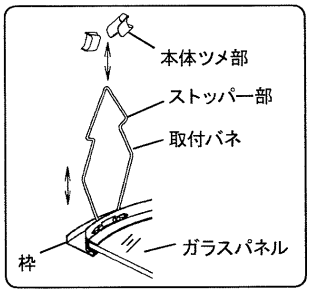
⚠警告	指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

⚠注意
点灯中や消灯直後はランプや器具にさわらないこと。 やけどの原因となります。

1．枠を取りはずす

①ストッパー部が本体ツメ部にあたるまで枠を静かに引き下げる。
②指先で取付バネを押し縮め、枠を取りはずす。





2．ランプを交換する

・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。
ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。

3．枠を取りつける

・本体ツメ部に取付バネを合わせ、枠をまっすぐ静かに最後まで押し上げる。
その時、ガラスパネル部は押さないでください。
不備がありますと落下・防水性低下の原因となります。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真 1048
お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）0120-878-236（FAX）

OT0308-4123